



読字 原田 鏡

No. 686

2012/11/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0055 東京都千代田区
西千代 1-1-1073C11階

日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(272)-3010
郵便番号1100
01250-04-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市遊島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:086(446)-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp

日中友好協会岡山支部

望年会のご案内

今年もあと1カ月余りとなりました。恒例の「日中友好望年会」を下記のようにとりおこないますので、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。中国からの帰国者の方々も参加し、手作り餃子をごちそうしてくれます。多くの方々も交流し、1年間の活動の労をねぎらい、来年に向けての活力にしていきたいと思ひます。多数のみなさんのご参加をお待ちしています。

【日時】 12月8日(土)午後3時~5時

【場所】 岡山県民主会館(岡山市下伊福町1-53)

【参加費】 2,000円

【お申し込み】 日中岡山事務局長 小林軍治まで

(TEL・FAX)086-277-2470(携帯電話) 090-8240-2001

倉敷支部の望年会

【とき】12月17日(月) 17時30分より

【ところ】 又来軒(天満屋6階)

尚出席の可否は後日ハガキを送付します。

日本語教室の役割再確認

— 日本と中国の人々の友好の懸け橋 —

前号にひきつづき 中国帰国者の日本語教室開講8周年の集いに参加した、江草ケイ子さんの感想をご紹介します。

私はこの教室に講師としてお手伝いを始めてとても日が浅いので、こうした記念の集いに参加したのも今年が2度目です。

日本語教室の

役割の大きさ

二人の受講生の体験発表には大きな示唆を与えられました。

た。その一人、今岡愛子さんは、8年前、ご両親と日本にいられた。お父さんも開会の挨拶をされましたが、お二人は共通して全く言葉の通じない日本に帰国し大きな不安で途方にくれる思いだった時、帰国者のための日本語教室開講が本当に嬉しかったこと、それから8年間、この教室がどんなに大きな支えになったかを語られました。そうした思いを想像するとき、日本語教室の役割がいかに大きいかを今更ながら知らされたようでした。

芳田日本語学習講座で学ぶ

日本語学習講座1周年記念の集いで陳夏さんの発表を紹介します。

私は、日本にきてもうすぐ2年になります。今年の3月から芳田公民館の日本語学習講座に参加しています。10月で8カ月になりました。月日のたつのは速いものです。

ここで講師と日本語を勉強している受講生たちと出会え



四季の歌の合唱を指揮する江草さん

多面的な勉強

もう一人の益田桜子さんは週5日、日本語教室へ通っているそうです。それぞれ教室の学習内容をくわしく話してくれ

て、いい友達になつてとても嬉しです。特に、山根さん夫婦は、いつも家でつくった食べ物を持ってきてくれます。休憩時間にみんなで美味しく食べます。

勉強する日は、毎週火曜日と第二、第四の金曜日です。小林先生、貝吹先生、宇垣先生と三宅先生はいつも真面目に準備して教えてくれるので、受講生はとても感動し日本語も全体的に上がりました。

高見さんの訴え

総社教室から参加された高見さんは、帰国者の日本での生活が家族を含めいかに厳しいかを具体的に話されました。教室の運営とともに、冷たい政府に向けて帰国者の尊厳と生活を守る支援活動にもいっそう力を入れなければとの思いも強くしました。

江草ケイ子



高見さんの訴え

秋の小旅行「帝釈峡」へ

11月6日(日)あいにくの雨天で道後山は諦め全日、帝釈峡の紅葉狩りハイクに変更し参加者も半数以下5人になりましたが強行実施、上帝釈に着いた時は小雨になり降ったりやんだり、上、下帝釈ともに少し遅めの紅葉でしたが、それはそれは落ち葉も捨てがたい、特に一同感嘆、の声をあげたのが休暇村の木々の色彩、地面に落ちた落ち葉の色、えも言えぬ美しさに一同感動、時期、雨上がりに感謝し帰路に就く。

下記は片岡淑子さんの感想

県北は今紅葉の真っ盛り、雨に濡れたその美しさは私の人生七〇年、最も美しいものでした、水面を背に赤、黄、橙、山の緑はどの絵具よりも鮮やかです、自然の色は、人間には出来ない神技、その色に少しでも近づきたいと心まで染まって行くようでした。

けふもまた
こころの鉦をうち鳴らし
うち鳴らしつつ
あくがれて行く

途中県境にある、若山牧水の記念碑に寄りました。



真赤な紅葉が見事ですモノクロで残念

「孫崎享著『日本の国境問題―尖閣・竹島・北方領土』を読む」

11月10日土曜日に岡山県生涯学習センターで開かれた岡山・十五年戦争資料センターの第9回研究会に参加してきました。

とても刺激的なタイトルでしたが、当日小林事務局長も出席されており、中国との民間交流をなう私たち日中友好協会としても、大変関心の高いテーマですので期待して参加しました。

参加者は10名で、最初にレジュメを作ってきて発表してくださったのが難波達興さんでした。そのレジュメのタイトルを紹介しておきます。一・いま、なぜ領土問題か―尖閣諸島を中心に―二・概念や対応をめぐって―三・井上清の尖閣諸島は中国の領土論―明・清・日清戦争期まで―四・戦後の領土

問題と「アメリカ要因」五・外国の事例に学ぶ

六・平和的な解決の展望
参加者の多くの方の意見は、やはり「棚上げしかないだろう」というのが一番のようでした。また、今後「固有の領土」とは何んなのか、無主の地の先占論とは何か、アメリカの果たしてきた役割とは何か、な

県内初の 中国出身指導員

私の友人の泰安淑衣さん

が、備前自動車岡山教習所の教習指導員の資格を取得しました。3度目の挑戦でやっと国家試験に合格しました。今年の夏ごろには「苦労は多いし白髪もふえてつらい、もうやめようか」とぼしていましたが、よくがんばりました。

県内の中国人居住者は、約9500人で教習生からの中国語で指導してほしいという要望が強いそうです。

彼女は大連市の出身で、数年前の里帰りの際に私を含む3人の日本人がつれて行ってもらい、彼女の家に泊めてもらい、大連、旅順の観光コースでいろいろな所へ連れて行ってもらいました。彼女が指導員としてうまくやっていけるように願っています。
河井伸士

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか? 30

竹内和夫



動詞連語

1) 食べてみる、2) 読んでしまう、のように2つの動詞が並んでいて、あとの動詞が元の意味から、ずれている場合を動詞連語とよぶ。

1)の「みる」は「実際に目で見える」のではなく、「心みる」意味で使われている。2)の「しまう」も「どこか本箱などへしまう」のではなく、「確実にする」意味で使われている。

前の動詞は連用形(中止b)を使う。後の動詞には、つぎのようなものがある。

いる：動作が継続して結果がのこる。

ある：完了した動作が続いている。

みる：実際に行う。

しまう：確実に、または予期しない結果になる。

おく：とりあえず用意する。

やる：目したのものに行う。

もらう：利益を受ける(いただく・くださる)も。

例文を出しあってみよう。

A: 小鳥が木の枝に止まっている。

財布が道に落ちていた。

B: あの部屋には禁煙と書いてあった。

この酒をちょっと飲んでみよう。

C: 早く宿題をやってしまいなさい。

ついに彼は行ってしまったか!

A: 念のために注意書きを読んでおこう。

B: こどもに昔話をしてやれ。

C: 貴重な論文を送ってもらいました。

先生に推薦状を書いていただいた。

この手紙、かわりに読んでください

つづく

倉敷支部 第10回中国問題文化講演会

変貌する中国の農業

世界の奇跡 日本への影響は? 日本農業との深いかかわり

講師 宇野忠義先生 (弘前大学 名誉教授)

日時 2012年12月15日(土) 14:00~16:00

場所 JA 倉敷かさや倉敷店2階会議室 倉敷市西中新田4-1

参加費 資料代 200円

次回の新聞発送作業は
12月3(月)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

稲葉
小林
竹内和
竹内製
坪井

ど多くの問題点について継続して議論していくことが必要ではないかということになりました。最後に「領土問題」の悪循環を止めよう!」——日本の市民のアピール——の紹介で終わりました。このアピールは『世界』11月号に掲載されています。
また、
<http://peace3appeal.jindo.com>
で検索できます。
真田